

戸建て分譲住宅事業に挑戦へ



新大分土地 代表取締役社長
阿南 勝啓 氏

- 質問
- ①子どものころの夢
 - ②新年を機に始めたいこと
 - ③生まれ変わったら何になりたい?

- ①ブルース・リー
- ②ジークンドー
- ③映画監督

定にも取り組んだ。「災害時対応はもちろん、業務の優先順位や顧客の再確認、課題の掘り起こしにより事業の意義、方向性を明確にできた」と成果を語る。

新規ビジネスとして、戸建て分譲住宅事業に挑戦しようと考えている。福岡市のメーカーと提携し、中庭やダイニングルームと一緒になったテラスデッキがある住宅を手がける予定だ。

1938年創立の会社は13年後に100周年を迎える。今後のテーマに

「シントチの夢をデザインする」を掲げる。「夢とは未来への希望、今を動かす原動力だ。大分の人と地域から必要とされ続ける存在になるよう、会社の未来戦略を描いていきたい」

大分市中心部で不動産の賃貸業、仲介業を主軸に展開している。改修後20周年を迎えた同市都町の「スロウダイニングビル」など、空きビルをリノベーションで再生させてきた。

2009年、大分市のガレリア竹町通商店街西口に「Waza Wazaビル」を開業。1階中央の通路に植栽を施し、季節を感じる洗練されたスポットを生み出した。21年に新築した「タケニシテラス」は、機能性、デザイン性が高く評価されている。

共通するのは、「まちはひとでできている」という確固とした価値観だ。「竹町西口を『タケニシ』と呼ぶ人が増えてきた。不動産というモノだけでなく、そこに暮らす人、集まる人の楽し

さや豊かさに焦点を当てて不動産ビジネスを捉えている。新たに住居用物件を造ることも視野に入れており、タケニシの魅力や価値をさらに高めていきたい」と意気込む。

「コロナ禍で中小企業や個人商店は金融支援を受けて不況に耐えたが、24年はその利息と元金の返済が始まっている。テナントの廃業や退去が発生した。時代の変化するスピードを実感する年だった」

収益確保とともに将来ビジョンを模索し、インターネットを活用した情報の共有化やキャッシュレス化などDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進して働く環境を整備。社員全員でBCP(事業継続計画)の策



居室と中庭と自然の光が一体となる家



新大分土地株式会社
SHINOITATOCHI CO.,LTD

新大分土地株式会社
大分市中央町1-5-25新大分ビル2階
TEL (097) 534-3371
<https://www.shinoita.com>

